

平成28年度 しが生物多様性大賞 受賞活動

1. 活動の名称

里守隊（さともりたい）活動

2. 活動の概要

目的・目標	貴重な地域資源である里山林の保全・整備活動により、「豊かな里山」「豊かな暮らし」を再生する
活動エリア	東近江市愛東地区「オオコバの森」
活動時期	通年：毎月1回の定例活動

3. 取組内容

○人と里山林のつながりが希薄になって以来、里山林はすっかり荒れてしまいました。そこでNPO法人愛のまちエコ倶楽部は、2005年に「里守隊」を結成。多様な生きものを育む豊かな里山を再生し、人と里山の親しい関係を取り戻したいと、整備活動を行なっています。

○毎月1回の定例活動を始めて、もうすぐ12年。松枯れ・ナラ枯れ被害木の伐採、萌芽更新のためのコナラ伐採、薪割り、草刈りなどを行い、薄暗かった森がかなり明るくなりました。活動によって得た薪と腐葉土は販売し、資源も資金もまわる森づくりをめざしています。

○活動日には、森につくったかまどで薪を使って昼食づくり。森の資源を利用するとともに、一緒に食事を楽しむことで幅広い年代のメンバーが交流を深めています。薪を使った料理のレパートリーも増え、好評です。

○講師を招いた自然観察会やチェーンソー講習会など、メンバーの知識や技術の向上にも努めています。

○活動の様子は、NPO法人愛のまちエコ倶楽部ホームページ <http://ai-eco.com/> の「活動ブログ」をご覧ください。



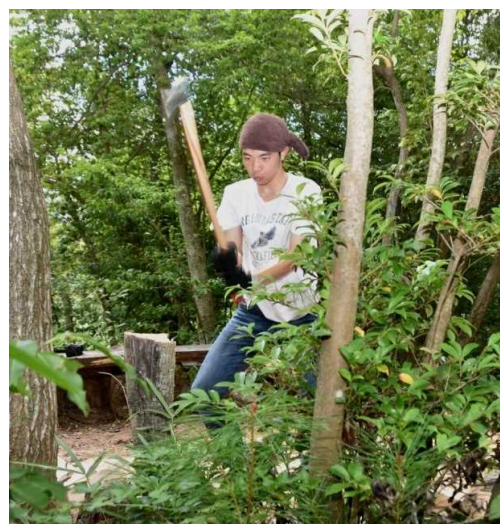
4. 今後の課題・将来像等

○森にたくさん生えていたアカマツは、松枯れによってほぼ全滅したかに見えました。しかし、整備した場所では実生が成長しつつあります。活動を続けることで、このアカマツが大きく育ち、次の世代のころには、元気になったアカマツ林に昔のようにマツタケが生えることを願っています。

○コナラの切り株からは萌芽更新が確認できました。しかし、シカの食害が著しく、対策が必要です。

○これまで里山林と触れ合う機会のなかった人にも、整備の意義を学び、自然の恵みをいただくことを実感し、里山を身近に感じるきっかけとなればと思います。

○里山林について一緒に考え、活動するメンバーを募集しています。また、企業・団体等の里山体験も受け入れます。お問い合わせください。



5. 連絡先等

NPO法人愛のまちエコ倶楽部

事務局／東近江市妹町70番地「あいとうエコプラザ菜の花館」内

TEL0749-46-8100 Fax0749-46-8288

ホームページ <http://ai-eco.com/>

フェイスブックページ <https://www.facebook.com/npoaieco>